

大型クラゲの出現状況

(平成 29 年 8 月 22 日現在)

国立研究開発法人水産研究・教育機構及び関係機関が実施した調査によると、黄海での確認は昨年の 100 分の 1 以下で、東シナ海および対馬海峡においては大型クラゲが確認されておらず、日本沿岸海域でも対馬海峡東水道と山陰沿岸海域でわずかに確認された程度で、今年度の出現量は昨年よりかなり少なく、大量出現の可能性も低いと考えられます。

- ・ 7 月 19 日から 28 日にかけて実施した大型クラゲモニタリング調査では、黄海における国際フェリー目視結果で昨年 100 分の 1 以下の出現量に留まっており、東シナ海、対馬海峡においては大型クラゲを確認することができませんでした。
- ・ 日本沿岸水域では対馬海峡東水道を通過する少量の大型クラゲが確認されたほか、山陰沿岸海域で散発的に確認されています。
- ・ これらの情報から、今年度の大型クラゲの出現量は昨年よりもかなり少なく、大型クラゲの大量出現の可能性は非常に低いと考えられます。
- ・ 本県沖への来遊はまだ不明ですが、今後の情報に注意してください。
- ・ 大型クラゲの目撃や入網がありましたら、水産振興センターまでお知らせください。

資料：国立研究開発法人水産研究・教育機構のホームページ
(<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/>)

(一社) 漁業情報サービスセンターのホームページ
(<http://www.iafic.or.jp/kurage/index.html>)

担当 秋田県水産振興センター
資源部 齋藤
電話 0185-27-3003
Fax 0185-27-3004